



Social

社会

Social Contribution Activities

社会貢献活動

4 社会

【人権】	69
【人材】	76
【サプライチェーン】	125
【社会貢献活動】	141
> 基本的な考え方	142
グローバルマネジメント	143
社会貢献活動に関する 取り組み	144
社会関連データ (社会貢献活動)	148
【安全】	149
【品質】	169

基本的な考え方

Honda の社会貢献活動

Hondaは創業以来、商品や技術を通じて社会やお客様にさまざまな喜びを提供してきました。また、「企業は地域に根付き、地域と融合した存在でなければならない」という考えのもと、まだ創業期だった1960年代に、地域とのつながりを大切にした社会貢献活動を開始しました。

そして現在も、「世界中の人々と喜びを分かち合い、存在を期待される企業」をめざし、世界7地域でさまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。また、その地域の実情に応じた取り組みのサポートも進めています。これからもHondaは、お客様や地域の人々とコミュニケーションを図りながら、社会貢献活動を展開していきます。

社会貢献活動の基本的な考え方

Hondaは1998年に「Honda社会活動理念・活動指針」を制定し、2006年には世界中のHondaが「夢のある明日の社会づくり」に向けて、より活動方向性の統一を図るためのグローバル方針を制定しました。

2018年には、時代や環境変化に応じてグローバル方針を改定し、2030年ビジョン「すべての人に『生活の可能性が広がる喜び』を提供」の実現に向けた展開をしています。

「人間尊重」と「三つの喜び」の基本理念のもと、世界中の人々の生活がより豊かになり、その喜びを分かち合えるよう、従業員一人ひとりの主体的な取り組みをグローバルで加速させていきたいと考えます。

社会貢献活動グローバル方針

理念

Hondaは、世界中の人びとの生活がより豊かになるように、「人間尊重」と「三つの喜び」の基本理念のもと、主体的に社会貢献活動に取り組みます。

目的

Hondaは、社会貢献活動を通じて、世界中の人びとへ“生活の可能性が広がる喜び”を提供し、持続可能な社会の実現に貢献することにより「存在を期待される企業」を目指します。

活動方針

- 企業市民として、地域に根ざした活動を積極的に行うことで社会からの共感と信頼を高めていきます。
- グローバルな視点で、Hondaのリソースを最大限に活用します。
- 従業員一人ひとりの参画を大切に活動を支えています。

活動領域

- 未来を創る子どもの育成支援活動
- 地球環境を守る活動
- 交通安全の教育・普及活動
- 地域に根ざした活動



4 社会

【人権】	69
【人材】	76
【サプライチェーン】	125
【社会貢献活動】	141
基本的な考え方	142
グローバルマネジメント	143
➤ 社会貢献活動に関する 取り組み	144
社会関連データ (社会貢献活動)	148
【安全】	149
【品質】	169

社会貢献活動に関する取り組み

2025年3月期の活動概要

Hondaは社会貢献活動グローバル方針に則り、夢のある明日の社会づくりに向けて、各地域の実情に合わせた社会貢献活動を行っています。

Hondaがめざす「環境負荷ゼロ社会」と「事故に遭わない社会」の実現に向けて、環境を大切にする心の育みや、「人」に焦点を当てた安全の啓発活動で事故を未然に防ぐことにグローバルで取り組んでいます。

本レポートでは、以上の取り組みを含めた各地域での代表的な社会貢献活動をご紹介します。

さらに詳しい情報は、下記のWebサイトにご覧いただけます。

Hondaの社会貢献活動 <https://global.honda/jp/philanthropy/>

日本

全国のHondaグループで展開する
「Hondaビーチクリーン活動」

2006年、Hondaは“素足で歩ける砂浜を次世代に残したい”という想いから、砂浜の清掃活動「Hondaビーチクリーン活動」を開始しました。

この活動では、沢山のごみが漂着した砂浜を「技術の力でなんとかしてきれいにできないか?」という想いで独自開発した、砂浜の生態系を傷つけずに清掃できるビーチクリーナーを使用しています。

2024年は、全国25ヵ所（23道府県）で活動を行い、約24tのごみを回収しました。また活動を支える技術進化に向けた取り組みとして、小型電動モビリティ「Honda Mobile Power Pack 4W-Vehicle Concept」をビーチクリーナーの牽引車として試験導入し、環境負荷の低減に関する検証を行いました。

Honda従業員やOBが始めたこの活動は、現在では全国のHondaグループや地域の皆様へ協力の輪が広がり、年間参加者は7,000人を超える活動へと発展しています。これまでに実施した活動回数は454回、回収したごみ総量は約567tにのぼります。



小型電動モビリティによる砂浜の清掃活動



ごみを手拾いする参加者

地球環境を
守る活動

4 社会

【人権】	69
【人材】	76
【サプライチェーン】	125
【社会貢献活動】	141
基本的な考え方	142
グローバルマネジメント	143
> 社会貢献活動に関する取り組み	144
社会関連データ (社会貢献活動)	148
【安全】	149
【品質】	169

社会貢献活動に関する取り組み

北米

北米のHondaグループがハリケーンや竜巻の被災者を支援

米国のHondaグループは、2024年にノースカロライナ州で発生したハリケーンと、オハイオ州で発生した竜巻によって被害を受けた被災地への支援として、米国赤十字社に合計60万ドルを寄付しました。

そのほかにも、ノースカロライナ州では米国赤十字社に発電機を40台、地元の博物館に工学教育キットを700セット寄付したほか、同州に拠点を置くホンダ エアクラフトカンパニーが被災地への人道支援物資の輸送を「HondaJet」でサポートしました。

オハイオ州では、ユナイテッドウェイ地域支部に25万ドルを寄付し、Hondaの従業員が被災地域での清掃活動や、被災家庭を訪問して生活必需品の配布や情報の提供をするなどの支援活動を行いました。

米国のHondaグループでは、従業員の被災地支援活動をサポートしています。2024年はマッチングギフトやボランティア助成金など総額4万5,000ドル以上を寄付しました。

地域に根ざした活動



被災地で支援活動を行う従業員ボランティア

南米

アルゼンチンの次世代教育プログラム「Pioneers on the Move」

二輪車の生産拠点であるホンダ・モートル・デ・アルヘンティーナ・エス・エーでは、「夢のある明日の社会づくり」をめざし、6～11歳の子どもを対象とした教育プログラム「Pioneers on the Move」を2013年から展開しています。

このプログラムでは、Hondaの社会貢献活動の各活動領域を象徴する4人のヒーロー（Traffic Girl、Super Eco、Solidarity Captain、Super Smarty）が登場し、余暇教育を取り入れた子どもたちが楽しく学べるコンテンツを提供しています。これまでにプログラムに参加した子どもたちや教師等の人数は、対面とオンラインでの参加を合わせて2万3,157人にのぼります。

近年、とくに交通安全に関する取り組みを強化しており、2024年には、市民協会Luchemos por la Vidaから、交通安全の意識向上や交通事故防止に貢献した団体として、企業の社会的責任部門で表彰されました。

未来を創る子どもの育成支援活動



プログラムに参加した子どもたちの様子

4 社会

【人権】	69
【人材】	76
【サプライチェーン】	125
【社会貢献活動】	141
基本的な考え方	142
グローバルマネジメント	143
➤ 社会貢献活動に関する 取り組み	144
社会関連データ (社会貢献活動)	148
【安全】	149
【品質】	169

社会貢献活動に関する取り組み

アジア・大洋州

ベトナムの子どもたちにヘルメットを寄贈

経済成長にともない交通量が増加するベトナムでは、二輪車は通勤、通学、業務など、市民の足として使われており、とくに朝夕のピーク時には無数の二輪車が走行しています。また、近年は四輪車の保有台数も増え始めるなど、交通安全は大きな社会的課題の一つになっています。

ホンダベトナムカンパニー・リミテッドは、子どもたちにヘルメット着用の意識を高めてもらうことを目的に、教育訓練省と国家交通安全委員会と協力して、2025年3月期に全国の小学1年生に170万個以上の認証済みヘルメットを寄贈するとともに、Hondaの正規販売店では児童と保護者の交通安全に関する知識向上イベントを開催しました。

この活動は2015年から継続して行われており、これまでに累計約1,010万個のヘルメットを寄贈しています。この取り組みでは、ベトナムの二輪車使用者にヘルメット着用習慣を身に付けてもらい、認証済みヘルメットの着用率100%をめざしています。

交通安全
の教育・
普及活動



ヘルメットを寄贈される子どもたち

中国

深刻な砂漠化が進む内モンゴル自治区における 長期植林活動

中国のHondaグループは、人口の急増や過放牧などを要因に深刻な砂漠化が進む内モンゴル自治区で、2008年から植林活動を行っています。

この活動では「Creating a Green Future Together」をテーマに、森林面積の増加、水や土壌の損失の抑制、地域の生態環境の改善をめざしており、2024年で17年目になります。

第4期(2023年～2027年)は5年間で約333万m²の植林を予定しており、2024年は約7万本の苗木を植樹しました。

これまでに累計6,500万円を投資し、植樹した苗木は約207万本、緑化面積は1.566万m²を超えています。

この長期的な取り組みにより、かつて砂漠化が進んでいた土地は緑豊かな土地へと変化をとげ、地域の持続可能な開発に寄与する「緑の壁」として機能しています。

地球環境を
守る活動



2025年3月期に植樹したエリア



17年前に植樹したエリアの現在の様子

